

活性化に向けた課題

安田市街地における拠点施設の老朽化

安田支所



●昭和45年建築
※新耐震基準不適合

安田公民館



●昭和49年建築
※新耐震基準不適合

「安心・安全」への懸念

悪循環の発生

「賑わい」や「拠点性」の低下

環境変化への対応

阿賀野バイパスの整備



阿賀野バイパス
R49 Aino Bypass

市の玄関口（ゲートウェイ）としての機能整備の必要性

★「安田地区複合施設」整備位置図★



★「安田地区複合施設」計画概要★

整備コンセプト

現行の「安田支所」及び「安田公民館」の機能をベースとしながら、人が集い、交流を育む 新たな「賑わい空間」 を整備する。

フロア構成計画

健康増進フロア	【3F】
文化教養フロア	【2F】
交流・支所フロア	【1F】

【1F】交流・支所フロア

支所（事務室）のほか、情報発信機能を併せ持つ多目的ホール（交流スペース）を設置する。

【2F】文化教養フロア

図書室、学習室、囲碁将棋室などを設置する。

【3F】健康増進フロア

エクササイズルーム、リラックスルーム、会議室などを設置する。

平成30年度末完成予定 予定延床面積：約1,700㎡

対応策

「安田地区複合施設」の整備

賑わいの創出、拠点性の向上

各種情報発信

便利で魅力ある市街地の形成

都市機能の維持・地域イメージの向上

市内拠点間のアクセス確保

既存の都市機能の有効活用



新潟県東部産業団地



五頭連峰



瓢湖（ハクチョウ飛来地）



遊園地（サントピアワールド）

市内全域への波及効果 ⇒ 産業・観光の活性化